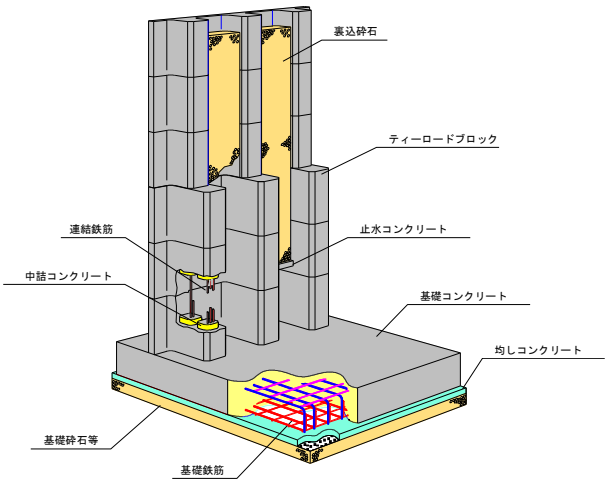
ティーロード

構造用プレキャストコンクリートブロック積上げ式擁壁

１．技術（工法）の概要

「ティーロード」は、片持ちばり式擁壁の壁体部分に積上げ式の構造用プレキャストコンクリートブロックを使用し、擁壁底版より立ち上げた鉛直鉄筋が「ティーロード」部材の中空部の所定の位置になるよう「ティーロード」部材を積み上げ、連結鉄筋を挿入取付後、中込コンクリートにより一体化させた擁壁である。



２．技術（工法）の特徴

１）前壁控え壁共複鉄筋コンクリート梁を構成し形状も贅肉部の少ないＴ型断面を形成しているので比較的軽量であり運搬効率や施工効率がよい。
２）控え長さの異なる３タイプのブロックを階段状に積み上げ、連結鉄筋により底版と一体化させることにより、経済的で強靭な擁壁にすることができる。
３）標準サイズは１０００×２０００ｍｍであり、その基本型のほか、縦半型、構半型、縦横半型の計４種類があり現場に応じて適切に割付ができる。
４）壁面は石張りや着色が可能なため、美観や周囲の景観に配慮した擁壁として使用できる。

３．審査証明の結果

「ティーロード」は、実大壁体の載荷試験、工期比較調査および製品と施工例の調査により、以下の性能を有することが確認された。

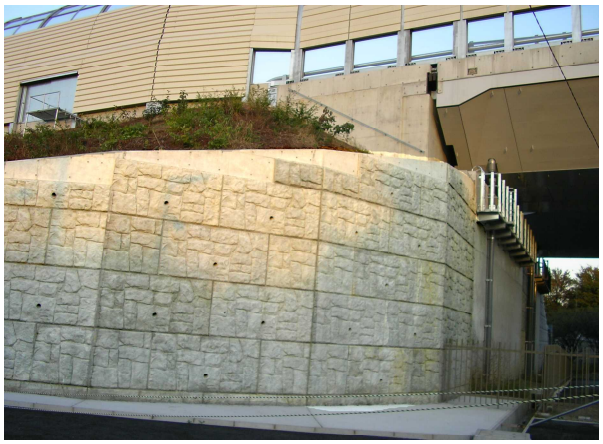
１）鉛直壁高さ１０ｍを超えない範囲において、現場打ち鉄筋コンクリート擁壁と同等の構造性能を有し、通常の環境条件下における許容ひび割れ幅を満足している。
２）現場打ちコンクリート擁壁に比べ、工期を短縮できる。
３）水平方向に壁面の角度を変化させることが可能であり、実績によれば曲線部において曲率半径１５ｍの対応が可能である。
４）壁面に多様な石張り模様と着色を施すことが可能である。

４．技術（工法）の適用、用途

「ティーロード」は、ＪＩＳ認証取得工場で生産されるため品質が均一であるだけでなく、必要に応じ前面壁に意匠を施すことが可能である。また、擁壁の控え部となる断面の形状寸法により、ＲＭ型、ＲＢ型、ＲＫ型の３タイプがある。このため鉛直壁高さ１０ｍ以下の範囲であれば、荷重条件に応じて適切な「ティーロード」部材を選定し、美観景観に侵れた擁壁を造ることができる。

１）道路擁壁
２）宅地造成擁壁

５．写　　真



写真－１

写真－２

６．施工実績

九州地方整備局大分工事事務所	国道１０号小筒井橋下部工工事	2002.10
中部地方整備局高山国道事務所	金桶道路改良工事	2003. 5
中部地方整備局静岡国道事務所	静清バイパス（１号清美川地区改良工事）	2004. 1
中部地方整備局浜松河川国道事務所	国道１号白須賀改良工事	2004. 3
関東地方整備局相武国道事務所	圏央道あきる野改良工事	2004. 5
関東地方整備局甲府河川国道事務所	箱原跨道橋設置ほか工事	2009. 4
関東地方整備局宇都宮国道事務所	国道４号問屋町交差点改良工事	2009.11
関東地方整備局相武国道事務所	八王子南バイパス改築工事	2010. 7
関東地方整備局相武国道事務所	さがみ縦貫城山地区改良工事	2013. 9
関東地方整備局相武国道事務所	Ｒ１６号福生市熊川地区改良工事	2014. 5
東北地方整備局福島河川国道事務所	御代田下小国地区道路改良工事	2015. 3
関東地方整備局相武国道事務所	福生市熊川地区改良工事	2017. 6

７.技術保有会社および連絡先

山一窯業株式会社　技術開発課　電話　055-233-2813
ＦＡＸ　055-233-2837

８.審査証明実施機関

一般財団法人　土木研究センター

９.審査証明年月日

２００５年１２月１８日
２０１０年１２月１８日　更新
２０１５年１２月１８日　更新
２０２０年１２月１８日　更新